

2020 (令和2年)

●書店で目的の書籍をご注文のときにISBNの番号を明示すると便利です



志村ふくみ 志村洋子 志村昌司 夢もまた青し

染めること、織ること、祈ること——個性が響きあいながら未来に繋ぐ思いを語る、家族三代のはじめての共著。

2,090円
河出書房新社



土田 昇 刃物たるべく

昭和から平成へ、通り過ぎてきた時代は手でものを作る人々になにを残したのか。無名性の中にただ生きた職人の肖像。

4,950円
みすず書房



高野光平 発掘! 歴史に埋もれたテレビCM

歴史に埋もれたテレビCMたちを現代によみがえらせる。遠ざかっていく昭和時代を正しく記憶するための一冊。

946円
光文社



萩原さちこ (監修) 目指せ! 全国制覇 御城印ガイド

御朱印ブームのつぎは御城印! お城の特徴、観るべきポイント、御城印の解説など、御城印がある全国の城を紹介。

1,870円
徳間書店



長澤浄美 キヨミさんのシニアの庭あそびアイデア

いつまでも花を咲かせ、きれいな庭を維持したい! 庭づくりの工夫や技法、気持ち若がる遊びのアイデアまで紹介。

1,980円
農山漁村文化協会



ジョセフ・コエロー アリソン・コルボイズ(絵) 横山和江(訳) おもいでではきえないよ

春も、夏も、秋も、冬も、ずっと一緒にいたおじいちゃん。でも、あたしの前からいなくなってしまう——。

1,650円
文研出版

【読書推進運動協議会とは】

秋の「読書週間」、春の「こどもの読書週間」があります。9月には「敬老の日読書のすすめ」を、1月には「若い人に贈る読書のすすめ」を実施します。5年に一度、「全国読書グループ調査」を行います。「優良読書グループの表彰」や、「大震災出版復興基金の運営」など、読書推進のために多彩な運動を展開しています。

読書推進運動協議会は、読書の普及の推進によって、わが国の文化の向上と社会の進展に寄与することを目的として、1959年(昭和34年)の「読書週間」を契機に、出版界と読書界の総意のもとに結成されたものです。現在、40の道府県に読書推進運動協議会があり、手を携えて読書推進運動を実施しています。2013年(平成25年)4月1日、公益社団法人となりました。年間の主な行事や運動には、

読書の楽しさ贈ります。

お礼、お祝い、お返しに……

図書カード NEXT

お求めは書店で
日本図書普及株式会社
<http://www.toshocard.com>

図書館印・書店印

9月21日は
敬老の日



公益社団法人
読書推進運動協議会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32
出版クラブビル6階

電話 (03) 5244-5270

FAX (03) 5244-5271

<http://www.dokusyo.or.jp>

敬老の日 読書のすすめ

2020
(令和2年)

本を読んで
みませんか?

「本を読むと若くなる」といわれます。読書が心の健康に役立つからです。本を読むことが、頭の体操になるからです。「本を読むと美しくなる」ともいわれます。すぐれた本といっしょに呼吸し、心を豊かに働かせている人は、自然に目の輝きがまして、自信のある顔立ちになるのでしょう。



村上春樹 高 妍(絵) 猫を棄てる

父親の従軍体験、幼少期の自身と父親との思い出、青春時代に起きた父親との行き違いなどを綴ったノンフィクション。
1,320円
ISBN978-4-16-391193-9 文藝春秋



小川 糸 ライオンのおやつ

食べて、生きて、この世から旅立つ。すべての人にいつか訪れることをあたたかく描き出す、いまが愛おしくなる物語。
1,650円
ISBN978-4-591-16002-2 ポプラ社



胤良ゆう 流浪の月

愛ではない。けれどそばにいたい。新しい人間関係への旅立ちを描き、実力派作家が本領を発揮した、傑作小説。
1,650円
ISBN978-4-488-02802-2 東京創元社



垣谷美雨 うちの父が運転をやめません

お父さん、何歳まで運転するつもり？ 親の運転をきっかけに家族が新たな一歩を踏み出す、感動家族小説！
1,760円
ISBN978-4-04-107970-6 KADOKAWA



柳 広司 太平洋食堂

紀州・新宮。この地に誰からも愛された男がいた——。歴史の闇に埋もれた傑士の半生に光をあてる、長編小説！
1,980円
ISBN978-4-09-380115-7 小学館



古関正裕 君はるか

連続テレビ小説『エール』のモデルとなった作曲家・古関裕而と妻・金子の純愛を、長男の正裕が綴った恋愛小説。
1,760円
ISBN978-4-7976-7376-0 集英社インターナショナル



阿川佐和子 老人初心者の覚悟

65歳、「高齢者」の仲間入りをしたアガワが、ときに強気に、ときに弱気に、老化と格闘する日々を綴る。
1,430円
ISBN978-4-12-005256-9 中央公論新社



樋口恵子 老〜い、どん！

超高齢社会への提言を続ける88歳の著者が、自身の「ヨタヘロ」の現実を、ユーモラスに綴るエッセイ！
1,485円
ISBN978-4-8292-0914-1 婦人之友社



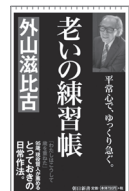
さだまさし やばい老人になろう

嫌われ、憎まれることを恐れるな——。「すごいお年寄り」になるためのヒントを語った一冊。さだ節、全開！
770円
ISBN978-4-569-76992-9 PHP研究所



筒井康隆 老人の美学

85歳を迎えた巨匠・筒井康隆が書き下ろす、斬新にして痛快、リアルな知恵にあふれた最強の老年論！
770円
ISBN978-4-10-610835-8 新潮社



外山滋比古 老いの練習帳

人生100年時代がやってきた。されど、悩むな、焦るな、欲くな——。淡々かつ快活に生きるための47の智恵。
869円
ISBN978-4-02-295030-7 朝日新聞出版



岸本葉子 ひとり老後、賢く楽しむ

子どもがいても、夫婦でも、最後はひとり……？ ちょっと早めに考えたい、未来が明るくなる老後準備。
1,485円
ISBN978-4-86651-130-6 文響社



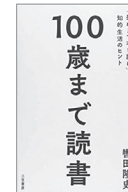
加賀乙彦 わたしの芭蕉

古典に深く親しんできた作家が、句を読み解きながら、日本語の豊かさ、人の生き方、老いと死の迎え方を伝える。
1,760円
ISBN978-4-06-517431-9 講談社



中西 進 鶴飼哲夫(聞き手) 卒寿の自画像

家族、戦争、万葉集。「令和」の考案者とされる中西進が90歳にしてはじめて明かす半生記。秘蔵写真と秘話満載。
1,540円
ISBN978-4-487-81339-1 東京書籍



樽田隆史 100歳まで読書

ベストセラー『「考える力」をつける本』の著者がユーモラスに提案する——「死ぬまで本を読む」知的生活のヒント。
1,320円
ISBN978-4-8379-2807-2 三笠書房



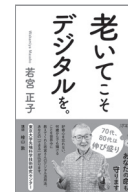
竹下晃朗 98歳、石窯じーじのいのちのパン

石窯やオーヴンを手造りし、日本産の小麦を選び、自分の石臼で挽く、石窯パン研究家・竹下晃朗さんのはじめての本。
1,760円
ISBN978-4-480-87908-0 筑摩書房



木村セツ 90歳セツの新聞ちぎり絵

夫を亡くした明くる年、2019年元旦からはじめた新聞ちぎり絵で才能が開花。新聞ちぎり絵＋ライフ・ヒストリー。
1,980円
ISBN978-4-907497-10-1 里山社



若宮正子 老いてこそデジタルを。

デジタルとの上手なつきあい方、スマホ決済やAI、プログラミングのことまで、84歳の著者がわかりやすく解説。
1,210円
ISBN978-4-86626-053-2 1万年堂出版